

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	地震火災総合対策小委員会		主 査 名：関澤愛 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：田中喙義
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>■1 年度(2008 年度) 地震火災の性状の理解を深めるとともに、これへの対策を総合的な見地より、すなわち、短・長期の両側面より分野横断的に地域特性をふまえて検討することを目的とする。年 5 回の小委員会を開催し、①大都市圏における地震火災の性状の理解、②延焼火災と人命危険性との関係の理解、③大都市圏における地震火災対策の課題と方向性の検討を行った。</p> <p>■2 年度(2009 年度) 大会において初年度の成果をもとに PD、或いは研究協議会を行う。公開小委員会を年 5 回程度開催、下記について議論を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方都市における地域特性をふまえた地震火災の性状の理解 ・ 地方都市における地域特性をふまえた地震火災対策の検討 <p>■3 年度(2010 年度) 過去 2 年度の成果をもとに PD、或いは研究協議会を行う。公開小委員会を年 5 回程度開催し、下記について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化、過疎化が進む地方都市でのまちづくりと防災の意味づけ ・ 地域特性をふまえた総合的地震火災対策の検討 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 関澤愛 (東京理科大学)、加藤孝明 (東京大学)、岩見達也 (国土交通省国総研) 廣井悠 (東京大学)、糸井川栄一 (筑波大学)、樋本圭祐 (京都大学)、室崎益輝 (関西学院大)、吉川仁 (防災アンド都市づくり)、村田明子 (清水建設)、江田敏男 (構造システム)、林広明 (大成建設)、増山格 (大成建設)、竹谷修一(国土交通省国総研)、西田幸夫(東京理科大学)、吉岡英樹 (建築研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2010 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー ・研究会・見学会等)	
大会研究集会	

対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 <small>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</small>	1. 計画を上回る7回の小委員会開催で様々な視点から議論することができた。 2. 計画目標を達成するための課題認識の共有を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 多忙な委員が多いため、全員が顔を合わせられる日程調整が難しいこと。 2. HP を開設する等、社会的に情報発信を行った方がよい。 3. 先駆的なテーマであるため、計画の達成にはより方針の模索が必要である。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。